

整理番号:1991793

発送番号:160424

発送日:平成17年 5月10日

1

拒絶理由通知書

特許出願の番号

特願2000-003254

起案日

平成17年 4月27日

特許庁審査官

大野 雅宏

8113 5V00

特許出願人代理人

深見 久郎 (外 5名) 様

適用条文

第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項 1-9

刊行物 引用文献1

備考

引用文献1の公報の請求項1及び実施例の説明を参照すると、受信データから通知宛先を読み取り、受信データの印刷通知を送信する考え方が示されているのが分かる。引用文献1の段落番号【0003】、【0004】、【0024】等の記載からみて、画像が印刷されたかどうかを画像データの提供者（つまり送信者）が印刷通知により確認できるようにしたのが引用例の技術的思想ととらえられるから、この考えを前提に考察すれば、画像データと一緒に通知先を印刷装置に向けて転送し、印刷が行われたら自動的にその結果を通知してもらうようにしておけばよいことは容易に推測できる。画像データに通知先など画像データ以外の情報を付加する技術に関しては周知のものが種々考えられるところであり、透かし情報の形で埋め込むことなどは当業者に自明である。通知先を取り出そうとしても無い場合、通知そのものが不可能であるから、通知先情報の存在が通知動作を行う際のトリガ情報になり得ることも当業者が見れば明らかである。したがって、本発明の実施の形態や用途は引用例と異なるにしても、本請求項の記載から発明を把握

整理番号:1991793 発送番号:160424 発送日:平成17年 5月10日 2/E

する限り、引用例と比較して格別な創意工夫点は認められない。

引用文献等一覧

1. 特開平10-262141号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第7版

H04N 1/00

・先行技術文献

1. 特開平10-262141号公報

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-262141

(43)Date of publication of application : 29.09.1998

(51)Int.Cl.

H04N 1/32
// H04N 1/44

(21)Application number : 09-066696

(71)Applicant : OKI DATA:KK

(22)Date of filing : 19.03.1997

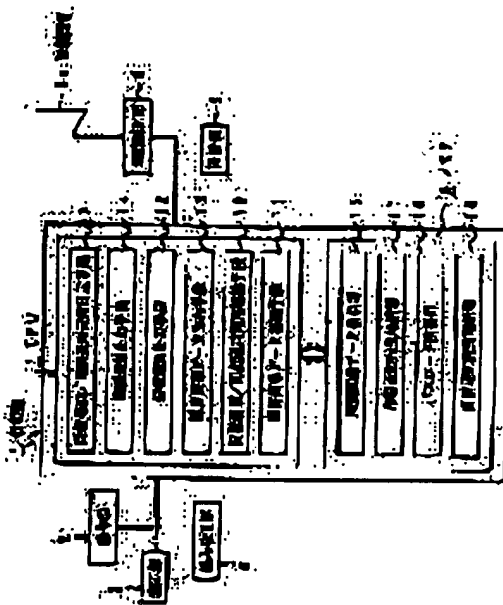
(72)Inventor : HOSODA TAKAAKI

(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To permit a transmission side to automatically recognize whether or not the contents of secret information is printed-out by means of the operation of a receiver by reading a printing report destination from a printing report destination storing part after printing reception data by means of the operation of the receiver and generating a printing report to transmit it.

SOLUTION: A reception-report/printing-report destination storing means 10 stores the printing report destination and a reception report destination in the first half of reception data in the printing report destination storing part 17 and a reception report destination storing part 18 before receiving secret image data. When secret image data stored in a secret image data storing part 15 is outputted from a printing part 5, a printing report outputting means 14 generates the printing report, based on the contents of the printing report destination storing part 17, automatically executes calling and outputs it to a transmission side. Thus, when secret image data is transmitted, it is recognized whether or not the contents of secrecy information is printed-out by the operation of the receiver not by making a call, etc., but by the printing report.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-262141

(43)公開日 平成10年(1998)9月29日

(51)Int.Cl.⁴

H04N 1/32

H04N 1/44

識別記号

FI

H04N 1/32

1/44

D

審査請求 未請求 請求項の数 2 OL (全 7 頁)

(21)出願番号 特開平9-08090

(22)出願日 平成9年(1997)3月19日

(71)出願人 581044184

株式会社データ

東京都港区芝浦四丁目11番地22号

(72)発明者 酒田 隆男

東京都港区芝浦4丁目11番地22号 株式会社

データ内

(74)代理人 弁護士 大西 健治

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【課題】 秘密情報の内容が受信者の操作により印刷出力されたか否かを電話等により確認しなくとも自動的に確認できるファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 受信通知宛先及び印刷通知宛先を受信データから読み取ってそれぞれメモリ8の受信通知宛先格納部18、印刷通知宛先格納部17に格納する受信通知／印刷通知宛先格納手段10と、受信データをメモリ8の秘密画像データ格納部15に格納した後、受信通知宛先格納部18から受信通知宛先を読み出し、受信者に通知する受信通知を作成して印刷出力する受信通知出力手段12と、受信者の操作による受信データの印刷後、印刷通知宛先格納部17から印刷通知宛先を読み出し、印刷通知を作成して送信する印刷通知出力手段14と備える。

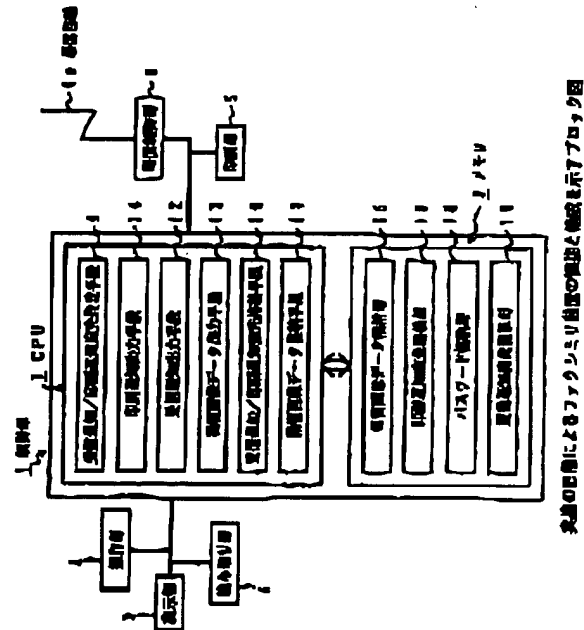


図1は、本発明によるファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。

(2)

特開平10-262141

【特許請求の範囲】

【請求項1】 受信者の操作を経てからメモリの機密画像データ格納部に格納してある受信データを印刷出力するファクシミリ装置において、

受信通知宛先及び印刷通知宛先を受信データから読み取ってそれぞれメモリの受信通知宛先格納部、印刷通知宛先格納部に格納する受信通知／印刷通知宛先格納手段と、

受信データをメモリの機密画像データ格納部に格納した後、受信通知宛先格納部から受信通知宛先を読み出し、受信者に通知する受信通知を作成して印刷出力する受信通知出力手段と、

受信者の操作による受信データの印刷出力後、印刷通知宛先格納部から印刷通知宛先を読み出し、印刷通知を作成して送信する印刷通知出力手段と備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1に記載された受信通知宛先及び印刷通知宛先を送信データに入力させる受信通知／印刷通知宛先指定手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は受信者の操作を経てからメモリに格納してある受信データを印刷出力する機能を備えたファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、受信者以外の目には触れたくない機密情報を送信する場合にはその旨をファクシミリ装置の操作部でセットすると、受信側では受信データを受信時に印刷せずメモリの機密画像データ格納部に格納し、受信者のパスワード等の操作を経てから印刷する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来のファクシミリ装置にあっては、機密情報を送信した場合、受信時に印刷せずメモリの機密画像データ格納部に格納されるので、送信側では印刷されたか否かを自動的に確認できず、受信側が内容を見たか否かを電話等により確認しなければならないという問題点があった。

【0004】 本発明は機密情報の内容が受信者の操作により印刷出力されたか否かを電話等により確認しなくとも自動的に確認できるファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために本発明のファクシミリ装置においては、受信通知宛先及び印刷通知宛先を受信データから読み取ってそれぞれメモリの受信通知宛先格納部、印刷通知宛先格納部に格納する受信通知／印刷通知宛先格納手段と、受信データをメモリの機密画像データ格納部に格納した後、受信通知宛先格納部から受信通知宛先を読み出し、受信者に通

知する受信通知を作成して印刷出力する受信通知出力手段と、受信者の操作による受信データの印刷後、印刷通知宛先格納部から印刷通知宛先を読み出し、印刷通知を作成して送信する印刷通知出力手段と備える。

【0006】

【発明の実施の形態】 本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。尚、各図面に共通な要素には同一符号を付す。図1は実施の形態によるファクシミリ装置の構成と構成を示すブロック図である。ファクシミリ装置全体を制御する制御部1には操作部2、表示部3、読み取り部4、印刷部5、通信制御部6が接続されている。通信制御部6は通信回線6aに接続されている。

【0007】 制御部1は中央処理装置7（以後CPU7と記す）と主記憶装置（以後メモリ8と記す）とを有する。CPU7は制御プログラムのステップに基づいて受信通知／印刷通知宛先指定手段9、受信通知／印刷通知宛先格納手段10、機密画像データ格納手段11、受信通知出力手段12、機密画像データ出力手段13、印刷通知出力手段14になる。

【0008】 また、メモリ8には機密画像データ格納部15、パスワード格納部16、印刷通知宛先格納部17、受信通知宛先格納部18が設けられている。

【0009】 受信通知／印刷通知宛先格納手段10は機密画像データの受信に先だって、受信データの前半にある印刷通知宛先と受信通知宛先とをそれぞれ印刷通知宛先格納部17、受信通知宛先格納部18に格納する。

【0010】 機密画像データ格納手段11は通信制御部6を介して受信した機密画像データを機密画像データ格納部15に格納する。

【0011】 受信通知出力手段12は機密画像データが受信画像格納部15に格納されると受信通知宛先格納部18の内容に基づいて印刷部5により受信通知を印刷出力する。

【0012】 機密画像データ出力手段13は操作部2から入力されたパスワードとパスワード格納部16に格納してあるパスワードとを比較して入力されたパスワードが登録済みか否かを検証し、登録済みであれば機密画像データ格納部15に格納されてある機密画像データを印刷出力する。

【0013】 印刷通知出力手段14は機密画像データ格納部15に格納してある機密画像データが印刷部5から出力されると印刷通知宛先格納部17の内容に基づいて印刷通知を作成し、自動発呼して送信側に出力する。

【0014】 図5は機密画像データ格納部の内容が受信者の操作により印刷出力されると送信側に送信される印刷通知の例を示す説明図である。

【0015】 図2は送信側の動作を示すフローチャートである。ステップS1でCPU7は原稿が読み取り部2にセットされたか否かを図示せぬセンサを介してセン

(3)

特開平10-262141

3

しており、セットされたことを検知するとステップS2に分岐する。ステップS2でCPU7は機密送信が指定されたか否かを操作部2を介してセンスしており、指定ならばステップS3に分岐し、否ならばステップS11に分岐する。

【0016】ステップS3でCPU7は受信通知/印刷通知宛先指定手段9として機密送信処理に移り、ステップS4、ステップS5、ステップS6で印刷通知宛先、受信通知宛先、FAX番号を入力することを表示部3に従ず。

【0017】ステップS7～ステップS10でCPU7はFAX番号に基づいて送信側を発呼し、送信可能であればスタートボタンが押下されたことをトリガとして機密画像データをITU-T勧告T.30に規定されたプロトコルの非標準機能設定信号NSSを使用して送信する。

【0018】ステップS11でCPU7は通常の画像データ送信処理に移り、ステップS6～ステップS10で通常の画像データ送信処理を開始する。

【0019】図3は受信側の動作を示すフローチャート(1)である。ステップS21でCPU7は通信制御部6を介して着信信号をセンスしており、着信信号を検知するとステップS22に分岐する。ステップS22でCPU7は非標準機能設定信号NSSを解析して受信データが機密画像データか否かをチェックし、機密画像データならばステップS23に分岐し、否ならばステップS29に分岐する。

【0020】ステップS23でCPU7は機密画像データ受信処理に移る。ステップS24でCPU7は受信通知/印刷通知宛先格納手段10として受信データのヘッダ部から印刷通知宛先、受信通知宛先を抽出してそれぞれメモリ8の印刷通知宛先格納部17、受信通知宛先格納部18に格納する。ステップS25、ステップS26で機密画像データ格納手段11として機密画像データの受信を開始し、機密画像データをメモリ8の機密画像データ格納部15に格納する。ステップS27で受信終了か否かをセンスし、受信終了ならばステップS28で受信通知出力手段12としてメモリ8の受信通知宛先格納部18から受信通知宛先を読み出し、受信通知を作成して印刷部5から出力する。

【0021】ステップS29でCPU7は通常の画像データ受信処理に移る。

【0022】図4は受信側の動作を示すフローチャート(2)である。ステップS31でCPU7は機密画像デー

4

タ出力手段13としてパスワードが入力されたか否かをセンスしており、受信通知を見た受信者が操作部2からパスワードを入力すると、ステップS32に分岐する。ステップS32でパスワードが既に登録されたものか否かをメモリ8のパスワード登録部の内容と比較し、パスワードが登録済みであればステップS33に分岐する。ステップS33でメモリ8に格納されてある機密画像データを読み出し、印刷部5から出力する。

【0023】ステップS34でCPU7は印刷通知出力手段14として印刷終了か否かをセンスし、印刷終了ならばステップS35でメモリ8から印刷通知宛先を読み出し、図5に示すような印刷通知を作成し、通信制御部6を介して機密画像データの送信側を自動発呼し、送信可能であれば通常の送信処理で送信する。

【0024】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されているので以下に記載される効果を奏する。受信通知宛先及び印刷通知宛先を受信データから読み取ってそれぞれメモリ8の受信通知宛先格納部、印刷通知宛先格納部に格納する受信通知/印刷通知宛先格納手段と、受信データをメモリ8の機密画像データ格納部に格納した後、受信通知宛先格納部から受信通知宛先を読み出し、受信者に通知する受信通知を作成して印刷出力する受信通知出力手段と、受信者の操作による受信データの印刷後、印刷通知宛先格納部から印刷通知宛先を読み出し、印刷通知を作成して送信する印刷通知出力手段と備えたことにより、機密画像データを送信した場合、機密情報の内容が受信者の操作により印刷出力されたか否かを電話等により確認しなくとも印刷通知により確認できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態によるファクシミリ装置の機能と構成を示すブロック図である。

【図2】送信側の動作を示すフローチャートである。

【図3】受信側の動作を示すフローチャート(1)である。

【図4】受信側の動作を示すフローチャート(2)である。

【図5】印刷通知の例を示す説明図である。

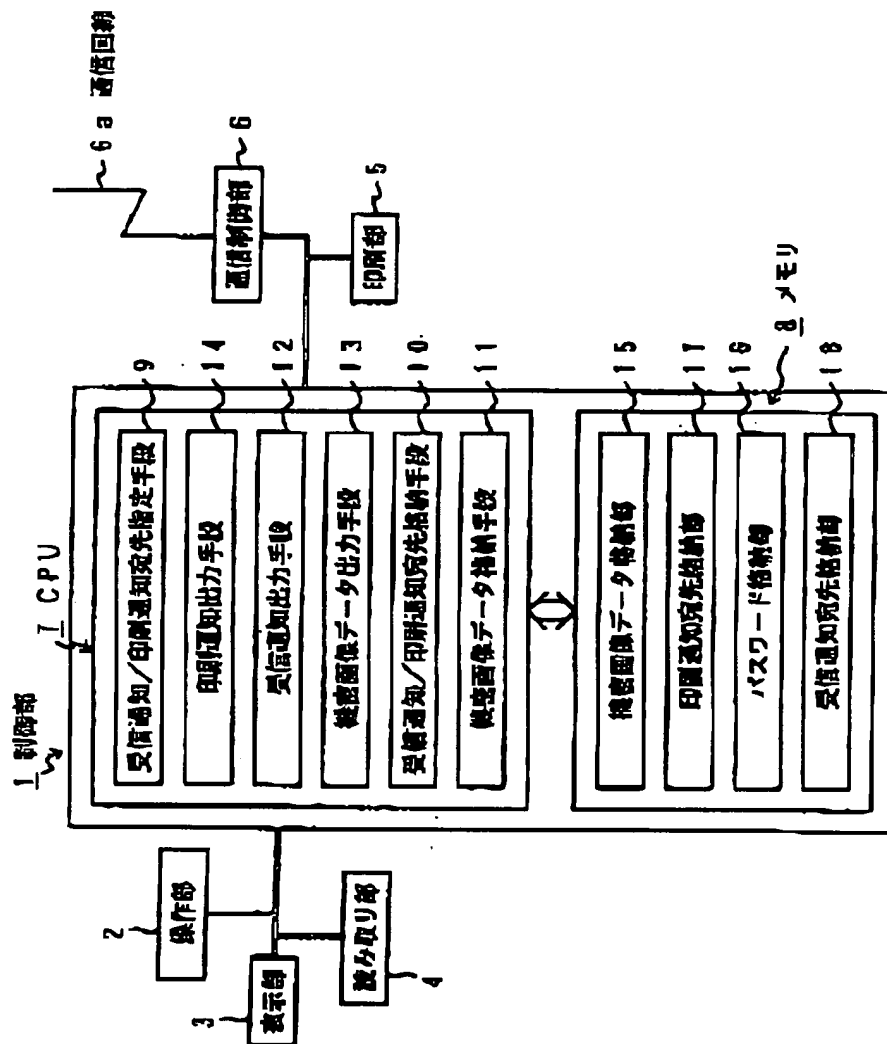
【符号の説明】

- 1 制御部
- 8 CPU
- 9 メモリ

(4)

特開平10-262141

【図1】

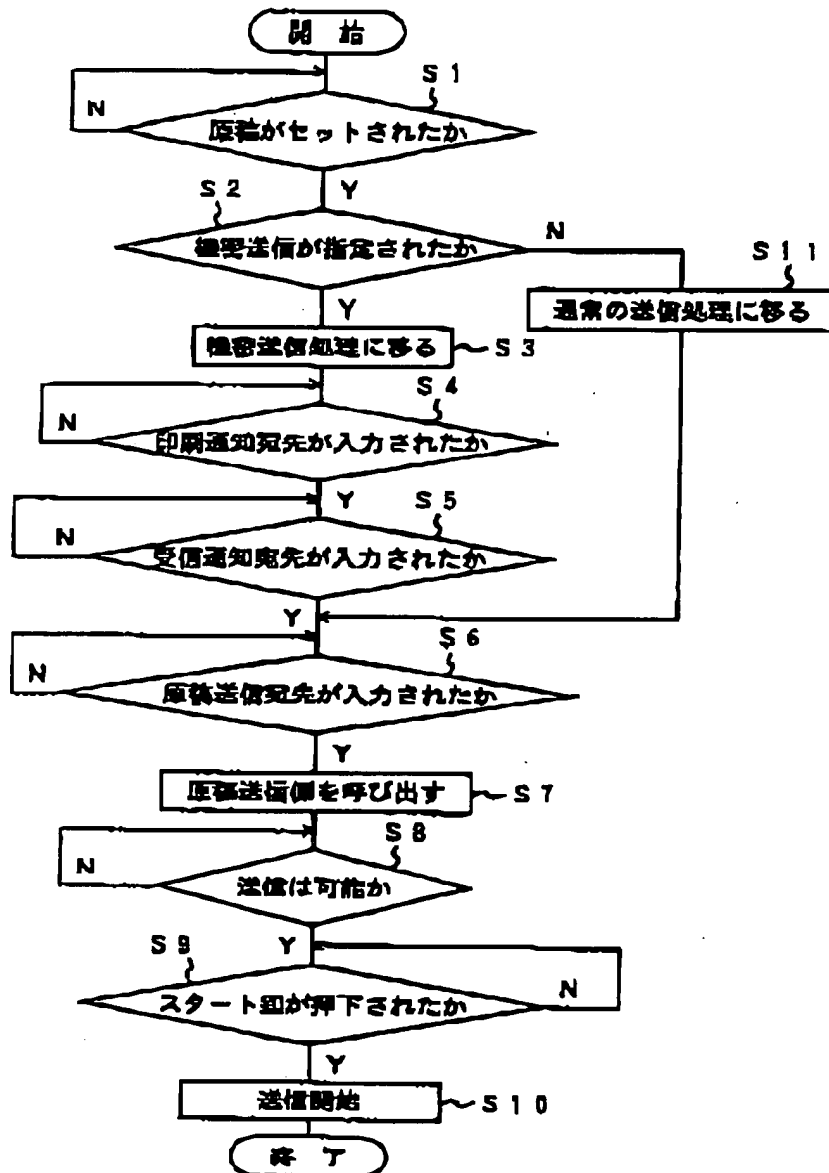


実施の形態によるファクシミリ装置の機能と構成を示すブロック図

(5)

特開平10-262141

【図2】



送信側の動作を示すフローチャート

【図5】

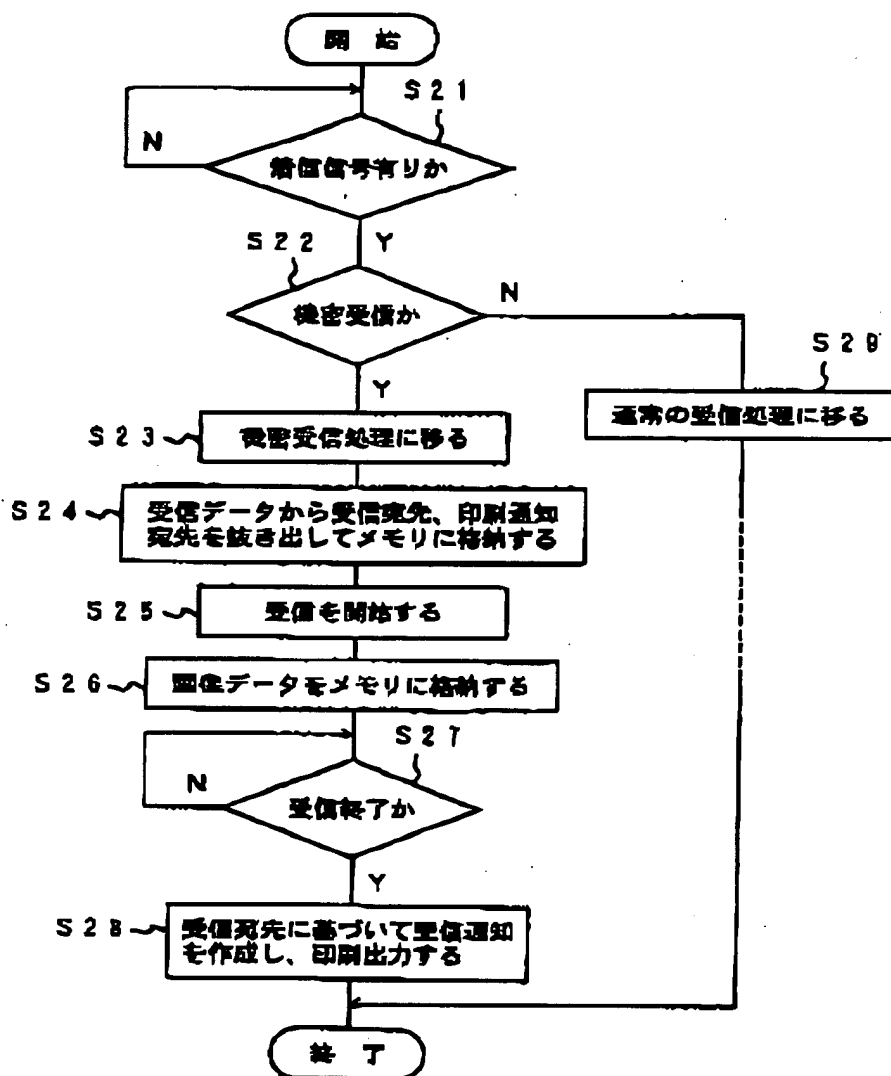
印刷通知	
宛先:	03-4557-8801
平成17年1月10日17時30分に 送信しました。お返事を頂戴いたします。	
日時:	17年1月10日 17時30分
FAX番号:	03-4557-8801
印刷枚数:	10
印刷機:	富士通
紙種:	A4

印刷通知の内容を示す説明図

(6)

特開平10-262141

【図3】

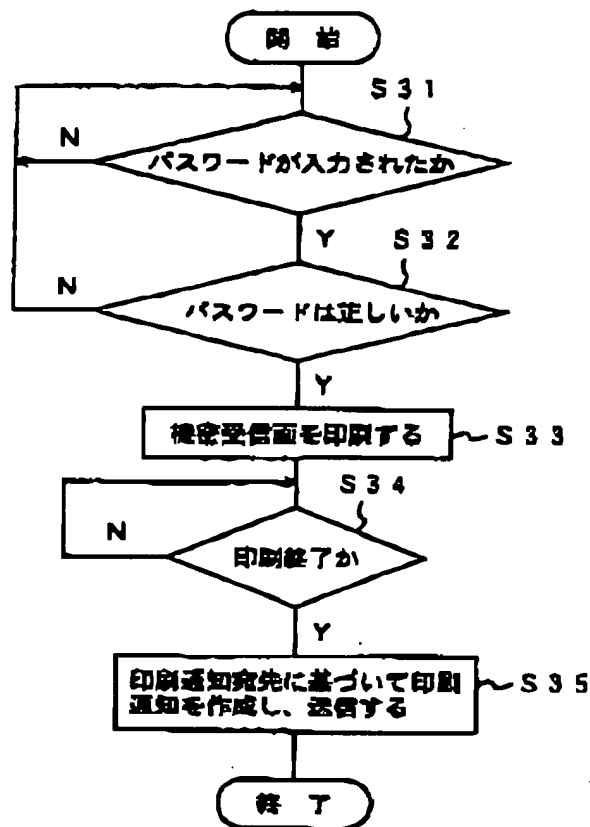


受信側の動作を示すフローチャート(1)

(7)

特開平10-262141

【図4】



受信側の動作を示すフローチャート(2)